

(全体進行：教頭１)

１ 校長挨拶

２ 校内参観（ＰＴＡ授業参観の様子を参観）

３ 協議・交流 <(２)以降は運営協議会委員の意見を中心に記録>

(１)学校からの伝達内容（学校職員より）

- ①第２回学校運営協議会以降の御嵩小概要 (校長)
- ②現在の子どもたちの生活面・健康面について (教頭２)
- ③次年度の主な行事予定について (教務主任)
- ④後期学校評価について (教頭１)

(２)運営協議会委員より感想やご意見 (進行：運営協議会会長)

①授業参観や学校説明を通して

- ・一年間を見てきて、コロナ禍が終わり、学校に元気や笑顔で戻ってきている。
- ・卒園した子の成長を楽しみにしている。１年生が元気に登校できている。応援している。
- ・登下校では元気のない子が、参観した授業では積極的に発言していた。一面だけで子どもを判断してはいけないのだと感じた。

②いじめについて

- ・「いじめ」はあるのか？ あるならどう対応しているのか？ 子どもが弱くなっていないか？
⇒被害を受けた児童が「いじめ」と捉えれば、それは「いじめ」であるという見方を、児童も職員も共通に認識しており、「いじめ」はある。大人の感覚からすれば、「そんなことで…」と思うような内容であっても、職員は傾聴し、丁寧に対応している。児童・職員・家庭が連携して丁寧な対応をすることで、世間で言うような重大いじめ案件は発生していない。
- ・大人社会でも、〇〇ハラスメントが充満している。大人同時でも、注意をできる人間関係をつくっていくことが大切だ。いじめを受けた子も、強い子になれるようにしていきたい。

③不登校について

- ・不登校の状況はどうか？ 日中はどんな生活をしているのか？
⇒全校で数名いる。日中は家の中で過ごしていることが多いと思われる。登校へ向け、オアシス教室に通う児童もいる。給食や休み時間など、きっかけがつかめるように支援をしている。

④命を守る訓練について

- ・避難訓練は実施しているか？
⇒一般に避難訓練と言われているものを、学校では「命を守る訓練」と読んでいる。各学期の早い時期に１回、年３回実施している。１学期は、普通教室から学級担任が誘導して基本的な避難方法や順路を確認す。２学期以降は、昼休みや掃除の時間に予告なしで実施し、自分の命を自分で守る実践的な力を養っている。また避難訓練以外にも、登下校時の不審者対応訓練なども実施している。

⑤学校運営協議会の在り方について

- ・評議員会の時と、協議会委員の認識があまり変わっていないように感じる。影響力のある会なので、町内６校の組織が共通認識をもてるようにしたい。また、他校の実践を交流できるようにしたい。教育委員会が、６校を取りまとめてくれるとよい。
- ・年度当初に、会の目標のようなものを決められると、うれしい。何をすればよいか、明確に分かる。
- ・向陽中学校の運営協議会と兼務している者以外、他校の様子が分からない。まずは、校区の向陽中学校の学校運営協議会と交流するところから始めていっても、よいのではないかと。
- ・あまり重い組織にしてしまうと活動が難しくなってしまう。バランスが大切である。学校も運営協議会も、互いに重荷になってしまうような目標は、設定したくない。
- ・学校運営に対して、直接意見を言えることは有り難いと感じている。

⑥その他

- ・年長園児は、入学を楽しみにしている。これからも、そんな学校運営を続けてもらいたい。
- ・絆メールアプリによる欠席・遅刻連絡が可能になったことは、保護者負担が軽減されよい。
- ・ブランコが運動場にできると聞いていたが、年度内に設置できるのか？
⇒業者選定も終わっており、3月初旬から着工予定。 年度内には完成できることを確認している。

4 校長よりお礼の言葉